

2024 年 6 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に 附属病院 5 階北病棟で入院治療を受けられた方及びご家族の方へ

—「特定機能病院リハビリテーション病棟における転倒転落の要因分析」

へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学附属病院	5 階北病棟	看護師	田邊遊莉
研究分担者	川崎医科大学附属病院	5 階北病棟	看護師	高杉沙希
	川崎医科大学附属病院	5 階北病棟	看護師	辻川歩花
	川崎医科大学附属病院	5 階北病棟	看護師	笹田彩美
	川崎医科大学附属病院	5 階北病棟	看護主任	上原和也

1. 研究の概要

特定機能病院リハビリテーション病棟では、急性期治療後に、集中的なリハビリテーションが必要な患者に対して機能訓練や在宅復帰の準備を行っています。入院患者は、脳梗塞や脳出血、骨折など疾患は様々であり、認知機能低下や高次機能障害、骨折後の荷重制限の指示などによって、安静度は異なります。そのような患者さんが安全に離床を進めていくためには、転倒転落への対策は大切な看護支援の 1 つです。しかし、附属病院 5 階北病棟ではインシデントに占める転倒転落の割合が半数を占めている現状があります。

特定機能病院リハビリテーション病棟では、診療報酬の規定で入院時、退院時に加えて、定期的に 2 週間に 1 回以上、機能的自立評価法(FIM)の評価をしています。FIM が転倒転落に及ぼす影響を分析することで、転倒転落の要因を明らかにすることが出来るのではないかと考えました。

転倒転落と FIM の関係性を調査することで、FIM が転倒転落への有効な指標となるか調査します。

調査結果により FIM を用いて要因が明らかになることで、安全に離床を進めることができ転倒転落への対策につなげていきたいと考えています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2024 年 6 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院 5 階北病棟において入院治療を受けた患者を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日

3) 研究方法

上記の研究対象患者のうち当院においてリハビリテーションの治療を受けられた方を、転倒転落のインシデントの報告を行った患者群と行っていない患者群に分けます。群分けした患者さんのFIM(入院時、2回目、退院時)データや入院病名、年齢、内服数と内服の種類を集計し、項目や総得点、内服数などをもとに比較検討を行います。

4) 使用する情報の種類

情報：機能的自立度評価表(FIM)、入院病名、年齢、入院日数、内服数と種類、転倒のインシデント報告の有無、転倒回数

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学附属病院5階北病棟フロア管理室で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたUSBに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等(父母(親権者)、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人)を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2025年11月30日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 5階北病棟

氏名：田邊 遊莉

電話：086-462-1111 内線25840(平日：8時30分～17時00分)

メールアドレス：kango-kenkyu.2025.02@hp.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

本研究に関する利益相反の有無及び内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適切に管理されています。